

令和3年度 新潟県コンクリート診断士会 技術講演会概要

日 時：令和3年6月29日（火）16時～17時

場 所：オンライン開催

参加人数：33人

講 師：長岡技術科学大学 名誉教授 丸山久一

演 題：社会資本の維持管理

講演会概要

妙高大橋は、供用開始後37年経過した2009年（平成21年）の補修工事に於いて、連続PCケーブルの破断が発見された。

凍結防止剤の散布、グラウト材の充填不良、橋面排水管の損傷などの劣化要因が重なり、早期に損傷が進行したものと考えられる。

抜本的な対策として新橋への架け替えを進めると共に、それまでの間、劣化調査、PCケーブルの腐食を考慮した有限要素解析、荷重車載荷試験、モニタリングの実施によって、橋梁の残存性能を的確に把握し、たわみ管理レベルを設定し維持管理の実務へのフィードバックを行った事例が紹介された。

PC橋における鋼材の腐食程度と耐荷性能の関係など、大変興味深い知見を得ることができた。



写真-1 丸山講師 講演風景